

2月26日(水)、3月定例市議会が開かれ、朝長市長が平成26年度の市政運営の方向性や具体的な取り組み等を示す「施政方針」を説明しました。その内容を抜粋、要約してお知らせします。

チャンス逃すことなく

市長2期目の最終年である26年度は、市民が主役である「市民第一主義」をさらにステップアップさせる年と考えています。そこで、第6次総合計画後期基本計画における「成長戦略」「安全・安心なまち」「地域の絆」という3つの重点プロジェクトの推進を図りつつ、市民の皆さんに生活向上を実感していただくための施策の実施を加速させ、まちのにぎわいや産業の振興に向けたまちづくりの次なるステージへ進化したいと考えています。

そのためには、これまで職員の内構えとして、「チャレンジ・チェンジ」「コミュニケーション」「3C」を旗印として取り組んできましたが、そこに、もう一つの「C」「チャンス(機)」を加え、企業誘致、統合型リゾート誘致、市民生活向上の施

特集1 平成26年度施政方針

まちのにぎわい 産業の振興
まちづくりの次なるステージへ



3月定例市議会で施政方針を述べる朝長市長

策などに、「チャンス」を逃すことなく自ら動き、職員一丸となって取り組みたいです。

3つの重点プロジェクト

1 成長戦略プロジェクト

「成長戦略プロジェクト」は、「1W4K(企業立地推進、観光振興、基地政策、国際戦略推進)」を基調とし、本市の持つ地域経済の特徴を生かして、成長力を強化することで地域活性化

を図るものです。企業立地の実現、観光客の増加、さらには国内外における地域産品の販路拡大・売り上げ増加を目指します。企業立地の推進については、佐世保工業団地「ウエストテクノ佐世保」が平成25年度末に完成し、企業誘致の受け皿が整いますので、企業誘致活動をより一層強力に展開します。

観光振興については、国内外へ佐世保の魅力を発信することにも、外国人観光客の集客に関しては、東アジアにおいて厳しい昨今の状況もありますが、中

長期の視点で集客促進を図り、近年成長が著しい東南アジアもターゲットに加え、官民一体となって誘致強化を推進します。また本市は、来年3月に西海国立公園指定60周年を迎えることから、26年度から4年間、「十九島」の認知度向上を目的としたPR事業等を展開します。

さらに、昨年4月に国土交通大臣から認定を受けた「海風の国」佐世保・小値賀観光圏の事業により滞在・交流型観光を推進します。

大きな可能性を秘めた「カジノ

ノを含む統合型リゾート誘致」に向けては、法案成立の状況を見極めながら、市民の皆さんのご理解を賜り、積極的な取り組みを進めていきたいと思えます。

この観光振興については、市民の皆さんのご理解と協力が不可欠です。26年度は今以上に市民の皆さんと共に「おもてなしの心」を持って、観光客を受け入れる体制をつくっていく必要があります。

そのため、「おもてなしの心」を醸成する活動の1つとして、お一人お一人に、自分が推奨する佐世保の「美しい」「楽しい」「美味しい」を持っていただき、それを自信を持って伝えたい。だくための「させば観光3しいGO!作戦」を展開したいと思います。



観光振興

- 西海国立公園指定60周年・九十九島認知度向上PR事業(26年度から4年間)
- 「海風の国」佐世保・小値賀観光圏推進
- 「カジノを含む統合型リゾート誘致」推進 など



おもてなしの心を醸成!
「美しい」「楽しい」「美味しい」
させば観光
3しいGO!作戦

国際戦略の推進については、本年が開港125周年に当たる佐世保港を拠点とした、三浦地区みなとまちづくり計画によるにぎわいの創出、あるいは、多目的国際ターミナル整備事業等のハード面の整備進捗により、いよいよ「7つの海から佐世保港へ」「佐世保港から7つの海へ」と、佐世保港が商港・観光港として動き出す時が来たものと感じています。

32	31	30	26	22	21	20
迎イベント」のご案内	コストバクトリア「歓送迎イベント」のご案内	検討委員募集	はばたけー佐世保のアスリート④・成人式典	市ホームページをリニューアル・徳育通信「伝えることの使命」など	健康と福祉	暮らしの情報
					「縁結びのフジの花」	「じゃがいものガレット」
					広報クイズ	エキストラバージョン
					オリーブ油をプレゼン	
					させば日和	高齢者の運転免許証返納のメリット
						お便り

18	16	14	08
市政通信	施設だより	イベント情報	特集2
市立総合病院「救命救急センター」新棟完成、アルバカーキ市青少年訪問団参加者募集、市職員(保育士)採用試験など	九十九島パールシー(朝ぎらら、海藻deあーと、トビカズラウォークなど)、九十九島動物園(春のローズフェスティバルなど)など	ハウステンボス・花の大祭典、長申山つつじまつり、はまぜん祭り、冷水岳春まつり、市民展 など	佐世保のアスリート 二度とない、この舞台に立つために

重要課題

石木ダム建設事業

平成21年度に申請した事業認定申請手続については、昨年9月6日に認定の告示を受け、本市の厳しい水事情の実態や石木ダムの必要性・公益性が法律上の位置付けの中で、正式に認められました。告示以降は、認定を受けた内容どおりに事業を進めていくため、建設予定地にお住まいの地権者の方々への戸別訪問等を県と本市が共同で行うなど懸命に取り組みを進め、現在も県を中心に課題解決に向けた方策の検討を進めています。取り組みに当たっては、市民と行政が思いを一つにして、一体となって進めていくことが最も大切ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

基地政策

「新返還6項目」については、赤崎貯油所に係る2項目が完結しており、立神港区第3号岸壁の一部、第4号岸壁、第5号岸壁の一部及びその背後地については、本年2月4日、米側から日本側へ返還されました。基地政策の最重要課題である「前畑弾薬庫の移転・返還」についても、平成23年1月の日米合同委

員会合意に基づき、前畑弾薬庫の移設が国の事業として推進されています。今後とも関係団体の皆さま方のご意見を拝聴し、負担軽減と地域振興に努めます。

崎辺地区の利活用について、これまで本市は、西海市米海軍横瀬貯油所のLCAC施設整備後における崎辺地区跡地の日本側への返還並びに海上自衛隊の係留施設等の整備、さらには、海上自衛隊による崎辺地区の利活用を具現化するものとして、潜水隊群の誘致を国に要望してきました。昨年3月、LCAC施設が西海市米海軍横瀬貯油所へ移転完了したことから、引き続き国に求めていきます。

昨年末に閣議決定された新防衛大綱に基づき、国においては、現下の安全保障環境を踏まえ、島嶼防衛に万全を期するため、平成26年度末に陸上自衛隊相浦駐屯地に「水陸機動準備隊」(仮称)が新編されることになっています。その具体的な内容や将来新編される「水陸機動団」(仮称)の団本部を含む部隊主力については、詳細が明らかになっていませんが、国防上必要とされる自衛隊施設の整備・充実に向けて、今後ともできる限りの協力・支援を図っていききたいと思います。



森きらららに導入するアミメキリン

近年経済成長が続く東南アジアの諸都市との交流促進を図ることでアジア諸国の活力を取り込み、本市の地域活性化につなげるため、シテイセルスの実施や海外自治体職員の受け入れなどを進めます。観光客の誘致促進については、官民一体となってPRに取り組むとともに、フェイスブック等を活用した旬の情報発信に努めます。また、国際色豊かな「港まち」佐世保を感じさせる外観の魅力的な観光バスを整備し、時季に合わせて市内の観光地を快適に周遊、観光できる体制を整えるなど、佐世保の新しい魅力を創出します。九十九島動物園森きららでは、「佐世保の空をペンギンが飛ぶ」というキャッチフレーズで「新ペンギン館」を年始めにオープンし、大好評をいただいています。3月には「アミメキリン」も導入することになっており、ハード・ソフト両面から、「また

総合病院においては、本年3月に集中治療室や小児周産期のベッドを併せ持つ待望の「救命救急センター」が竣工します。今後も、より高度で先進的な医療を提供し、患者さまの救命率向上に努めます。市立看護専門学校については、県の看護研究研修センター施設と合築で、老朽化した校舎の建替工事を実施しており、27年度の供用開始を目指しています。これに合わせ、学生数も1学年80人に倍増し、看護師の確保に寄与します。栄・常盤地区市街地再開発事業の再開発ビル「サンクル1番館」内に設置する「福祉活動プラザ」については、福祉活動の拠点施設として本年4月から供用開始します。28年度には、高齢者のスポーツ・文化イベントの祭典「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」が長崎県で開催され、本市も3競技の開催が予定されているため、準備を進めていきます。



4月4日(金)に寄港予定の大型国際クルーズ客船「フォーレングラム」

具体的には、東アジアへ向けた九州サブゲートウェイ構想の一環として進めている「三浦岸壁」が、本年4月に供用できることになりました。4月以降、外国船籍で7万トン級の大型クルーズ客船の寄港予約が寄せられており、現在、その受け入れに向け関係機関とさまざまな協議を進めています。佐世保港を玄関口として多くの観光客に本市へおいでいただき、また、外国人観光客の受け入れを行うための「ターミナル施設」については、平成26年度の完成を目指して引き続き整備を進め、国際観光港湾都市としての機能をより一層高めます。一方で、「国際定期航路開設」については、長崎県とともに韓



昨年オープンした「させぼ五番街」

国船社と協議を進めています。具体的な状況までには至っておらず、実現に向け引き続き協議を進めていきます。さらに、三ヶ町や四ヶ町等の既存商店街、させぼ五番街、商工会議所、市で構成する「SAS EBOまち元気協議会」において、官民協働の中で中心市街地の魅力や回遊性を高める新たな街づくりの取り組みとして、本市の地域資源である「まちなか商店街」や「港まち」を生かした、佐世保ならではの「地域の元気づくり事業」を積極的に展開し、中心市街地の魅力向上と商圏の拡大を目指します。

2 安全・安心なまちプロジェクト

「安全・安心なまちプロジェクト

クト」では、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害や緊急事態を想定しハード・ソフト両面から対策を講じるとともに、日々の暮らしにおける安全と市民の皆さんの尊い生命と財産を守ることをしています。医療提供体制については、本年4月からの「佐世保市立総合病院救命救急センター」の本格稼働と合わせて、初期・二次・三次救急医療体制の役割分担・機能強化を図るとともに、高度急性期から回復期、在宅医療に至るまで、切れ目なく必要な医療が提供される体制の構築を目指します。

3 地域の絆プロジェクト

まちづくりの基盤である町内

会など地域コミュニティの活性化や市民協働等を推進するのが「地域の絆プロジェクト」です。特に、地域コミュニティ活動の支援・活性化については、地域の一体的なまちづくりの主体となる「地区自治協議会」の設立・運営をはじめとする地域コミュニティ活性化に向けたモデル事業を引き続き実施し、27年度からの市内全域での実施に向けた実施計画の策定を行います。地域の最も基礎的な組織であ

まちづくりの7つの基本目標と主な施策

1 雇用を生み出す力強い産業のまち

「地場産業の振興」については、低利の制度融資を引き続き実施するほか、保証料補給や利子補給等を行うことで市内企業の負担軽減を図るなど、実情に応じた対策を講じます。「工場企業の活性化」については、昨年2月に指定を受けた「ながさき海洋・環境産業拠点特区」を活用し、造船関連技術を生かした海洋関連産業の振興を図ります。相浦中里インターチェンジ用地における「地域振興施設」については、平成25年度に運営事業者を選定したことから、この

運営事業者と国県等の関係機関と調整を図りながら、交流イベント施設を含め整備を進めていきます。「ウエストテクノ佐世保」をはじめ、「吉井町御橋工業団地」「鹿町工場適地(職業訓練校跡地)」については、早い時期での分譲完了を目指し、長崎県や長崎県産業振興財団との連携を図りながら企業誘致活動を進めていきます。農林水産業については、特に、干ばつによる影響を受けやすい「西海みかん」の抜本的な灌がい対策に着手します。「佐世保市農水産物産地化・ブランド化事業」では、認定した産品に継続的に支援を行い、付加価値の高い新たな産品の創出につなげ、農水産業者の所得や生産意欲の向上を図ります。また、より多くの方々に「させぼ産品」の愛用者となっていただけるよう、「させぼ戦略産品」を中心とした重点的なプロモーションを行っていきます。

2 あふれる魅力を創出し、体感できるまち

国際政策の推進については、「国際戦略活動指針」に基づき、中国・韓国など東アジアのほか、

3 健康で安心して暮らせる福祉のまち

「行きたい」と思っていただけ魅力ある動物園づくりを推進してまいります。

④心豊かな人を育むまち

平成27年度から本格的に実施される「子ども・子育て支援新制度」への円滑な移行に向け、25年度に設置した「佐世保市子ども・子育て会議」において審議を行い、「子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めます。

栄・常盤地区市街地再開発事業の施設整備は最終年度を迎えますが、サンクル内に配置する「中央公民館」は本年2月に運用を開始した講座室に続き、26年度は事務室と講堂を移転し、全館供用開始を目指します。また、「子ども発達センター」については、26年度中の供用開始を目指すこととしており、これにより再開発ビル内への公共施設の配置が完了することになります。

乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の皆さんに複合的な行政サービスを提供するゾーンが形成され、交流人口や定住人口が増えていくことなどが、まちの再生、活性化につながっていくものと期待しています。

8月には「第62回日本PTA研究大会」が県下で行われます。本市ではアルカスSASEBOとハウステンボスの2会場で分科会が開かれますが、「学校、家庭、地域」の掛け橋となられるP

TAの取り組みを支援したいと思えます。

第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」と第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」は、本年秋にいよいよ本番を迎えます。

本市では8つの正式競技と2つのデモンストレーションとしてのスポーツ行事を、障害者スポーツ大会では2つの正式競技を開催します。

リハーサル大会の経験を生かして、円滑な競技運営と感動あふれる大会の実現を目指すとともに、全国各地から本市を訪れる選手や監督、関係者など約12万人の方々を市民総参加で「おもてなしの心」を持って迎えたい、全国に佐世保市をアピールしたいと思えます。

⑤人と自然が共生するまち

市民一人一人の環境問題についての理解を促すため、地球温暖化や自然環境保全をはじめとする環境問題に関する啓発に努めることにも、学校版環境ISOの推進や市民の環境学習の充実を図り、自発的に行動できる「環境市民」の育成に取り組みます。

公共下水道の整備については、

平成24年度に策定した中長期計画に基づく事業費や人員体制の強化により、主に中部処理区の早岐、広田地区、西部処理区の日野、相浦、新田地区の事業を継続しながら、江迎処理区の田ノ元地区においても公共下水道の利用が順次可能となるよう、計画的かつ効率的に進めます。

⑥安全な生活を守るまち

老朽危険空き家等の対策として昨年7月に「空き家等の適正管理に関する条例」を施行しており、所有者等に対して自主的な維持管理を促すとともに、老朽危険空き家除却費補助金の対象を住宅以外にも拡大し、所有者等への支援や指導などを行いながら、居住環境の改善を図り、安全で安心なまちづくりに努めます。

東消防署建設については、平成27年度の完成を目指し、本体工事に着手します。完成後は、地域住民の方々が参加できる研修等にも活用し、安全・安心を守る施設とします。

町内の防犯灯のLED化に係る経費に対しては、新たに貸付制度を開始します。

⑦快適な生活と交流を支えるまち

平成34年開業を目指し着工されている「九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)」の短絡ルートについては、県北住民の「苦渋の選択」の結果生まれたものであり、新幹線の効果を県北地域に波及させるためにも、フリーゲージトレインの佐世保市への乗り入れを含む、JR佐世保線等の輸送改善を行うことは必要不可欠です。その実現に向けて県と連携し、国やJR九州への要望活動のほか、必要な調査なども行いながら進めていきます。

市営バス事業については、26年度までの期間で新たに取組む交通事業改善計画に沿って、事業全般にわたる改善・改革を継続的に推進します。

乗合事業においては、事業経営圧迫の大きな要因である採算路線の対策に取り組むとともに、利便性向上策として、路線ごとの番号付与や、分かりやすい目的地表示などに、民間バスと協力して取り組みます。

※平成26年度当初予算の概要は来月号でお知らせします。

市政の重要事項の報告

ハウステンボス再生支援について

本市では、ハウステンボスが重要な観光拠点であり、本市のまちづくりに必要不可欠であることなどを踏まえ、事業者の経営安定と同地区の維持発展を図るため、再生支援交付金を交付するなどの再生支援を行ってきました。

ハウステンボス株式会社では、再建開始後、施設のリニューアルや多彩なイベントを切れ目なく展開されるなど、新たなにぎわいを創出されてきました。その結果、初年度には開業以来初の黒字化を達成され、直近の平成25年9月期単独決算では、入場者数が約247万人となり、営業利益約48億円、経常利益約57億円を計上されるなど、初年度から増収増益を続けられ、入場者数も増加傾向で、かつてのにぎわいを取り戻されつつあります。また、雇用者数の維持・増加、地元企業への発注機会の拡大など地域経済にも大いに貢献されています。

このような中、同社から本市に対し、「経営再建に一定の目途がついたため、ハウステンボス再生支援交付金を平成26年9月をもって終了させていただきたい」との申し出がありました。

今回の申し出は、同社が澤田代表取締役社長のリーダーシップの下にご尽力された成果であり、そ

の経営手腕と従業員の皆さまのご努力に対し敬意を表しますとともに、今回、想定より短期間で再建完了と判断していただいたことを大変嬉しく思います。

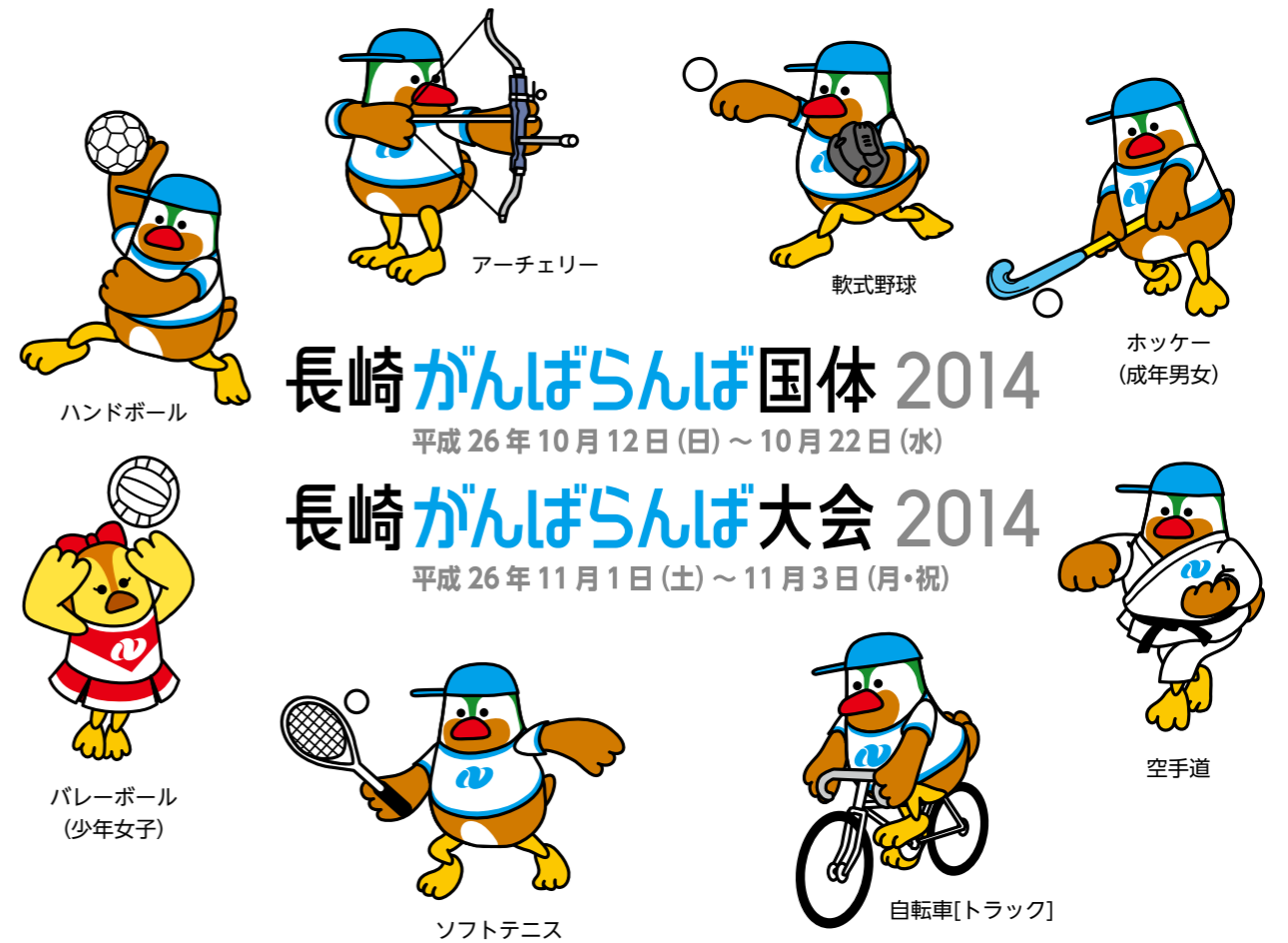
同社には、これまで以上に雇用や地元企業との取り引きをはじめとした地域経済へご貢献をいただき、市民の皆さまが「佐世保の宝」として感じることができるような事業展開を期待したいと思います。

西九州自動車道松浦～佐々間の新規事業採択時評価手続の着手について

2月25日、国土交通省により西九州自動車道における唯一の未事業化区間である「松浦～佐々間」について、新規事業採択時評価の手続きに着手することが発表されました。

西九州自動車道については、地域間交流の促進や経済の活性化を図る上で重要な社会基盤になることはもちろん、観光振興や新たな産業の創出など、本市を含めた九州西北部地域の皆さまが、その全線開通を長年望んできた道路です。

事業採択された暁には、一日も早い全線開通に向け、引き続き当区間の整備促進について、国、県にお願いしていききたいと思います。



※デモンストレーションとしてのスポーツ行事は「3B体操」「スポーツチャンバラ」を、長崎がんばらんば大会は「バレーボール(精神)」「アーチェリー(身体)」を実施します。